

◆◆関東地方整備局の動き◆◆

1. 冬期の運転に向けて備えを万全に

～「関東甲信地方の冬道ポータルサイト」を開設しました～

関東地方整備局
道路部

冬の道路は、突然の降雪や急な気温低下による路面凍結のおそれがあります。普通タイヤのままでは、スリップ事故や登坂不能などのトラブルが発生しやすくなります。山間部はもちろん、普段雪が降らない平野部においても、安全な走行のために、冬の備えは重要です。

関東地方整備局が管理する国道では、大雪時に大型車等が立ち往生しやすい場所を選定し、「予防的通行規制区間」として設定しています。予防的通行規制区間では、大雪時に早い段階で通行止めを行い、集中的・効率的な除雪を実施することがあります。【本文資料(PDF)別紙】

また、短期間で集中的な大雪が降る場合は、広範囲での通行止めや並行する高速道路との同時通行止めを行い、広域迂回をお願いする可能性があります。

今年も本格的な降雪期を迎え、長野県では11月24日頃、群馬県北部では11月26日頃に降雪が予測されています。冬期の運転にあたり、冬用タイヤの早期装着、タイヤチェーンの携行の他、大雪予報時には車の利用を控えていただくよう、ご理解・ご協力をお願いします。

関東地方整備局や管内の国道事務所では、ホームページやツイッター等で通行止めや道路除雪の情報などを提供しています。また、関東地方整備局のHPに関東甲信地方の冬の道路情報を取りまとめた『関東甲信地方の冬道ポータルサイト』を開設しました。ドライバーの皆様は、お出かけ前にぜひ、ご確認ください。

関東甲信地方の降雪時の道路情報については

関東甲信地方の冬道ポータルサイト

<https://www.ktr.mlit.go.jp/road/sinsei/index00000003.html>

※関東地整のホームページトップ画面からもアクセスできます。

関東地方整備局ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp>

関東地方整備局道路部ツイッター https://twitter.com/mlit_kanto_road
などをご活用ください。

この記事や、この記事の添付資料を以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_00000339.html

2. 道路協力団体の第6回の指定に向け、募集を始めます

関東地方整備局
道路部

○関東地方整備局ではこのたび、(道路協力団体注)の第6回指定に向けた公募を開始いたします。

○公募の事前相談期間、申請受付期間は以下のとおりです。

事前相談期間：令和3年11月8日(月)～令和3年11月19日(金)

申請受付期間：令和3年11月22日(月)～令和3年12月3日(金)

○公募に関する詳細(募集要項等)については、各事務所のホームページ【本文資料(PDF)別紙1】でご確認下さい。また、自治体管理の道路において道路協力団体の指定を希望する場合は管轄する自治体へご相談ください。

注)道路協力団体制度は、道路における身近な課題の解消や道路利用者のニーズへのきめ細やかな対応などの業務に自発的に取り組む民間団体等を支援し、地域の実情に応じた道路管理の充実を図ることを目的とした制度で、平成28年4月に創設されました。制度の概要については、リーフレット【本文資料(PDF)別紙2】をご覧ください。

詳しくは、国土交通省のホームページをご覧ください。

<https://www.mlit.go.jp/road/kyoryokudantai/index.html>

この記事や、この記事の添付資料を以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_00000338.html

3. 令和3年度工事事故防止強化月間

～工事事故防止に向けた安全対策の取り組み～

関東地方整備局
企画部
港湾空港部

関東地方整備局では、平成15年度より「重点的安全対策」を定め、工事事故の防止に努めているところです。

令和3年度の関東地方整備局における工事事故発生状況は8月31日現在で27件であり、前年度同日時点の発生件数(16件)と比較すると増加傾向にあり、憂慮すべき状況にあります。

工事安全対策の向上を図るため、工事稼働現場が増加する11月を「工事事故防止強化月間」とし、本文資料(PDF)別紙のとおり実施要領を定め、管内関係事務所に通知するとともに、関係業団体に協力を要請し、工事安全対策に重点的に取り組みます。

なお、令和3年度の事故発生状況の詳細や事故事例については、関東地方整備局ホームページに掲載しています。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000013.html>

この記事や、この記事の添付資料を以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000889.html

4. “地域インフラ” サポートプラン関東 ～「技術者スピリッツ」紹介～

関東地方整備局
企画部

関東地方整備局では、年間約1,200件の工事を行っています。私どもは、これまで工事の目的や出来上がった際の効果を中心に広報してきました。建設工事は、いわゆる一品生産です。各現場では、品質が良く、地域の方に末永く使ってもらえるものを作ろうと技術者が日々努力をしています。世界に一つだけの工事に携わる技術者に光をあて、関東地方整備局ホームページにて紹介しています。

(現在、419話まで掲載中)

是非ご覧いただき、「喜ばれるものを作る」奮闘する技術者の魅力が伝われば幸いです。

「技術者スピリッツ」は以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/gi_jyutu/index00000022.html

◆◆国土交通本省の動き◆◆

1. 未知なるみちを目撃せよ！！

～HOKOMICHI INSPIRE FORUM 2021

ホコミチ インスパイア フォーラム を開催～

国土交通省は12月10日(金)、道路空間をクリエイティブに活用し、人が主役の魅力ある空間へ進化させていくことを目指して「ホコミチ インスパイア フォーラム 2021」を開催します。

「道路空間を街の活性化に活用したい」「歩道にカフェやベンチを置いてゆっくり滞在できる空間にしたい」など、道路への新しいニーズが高まっており、令和2年度の道路法改正によって、賑わいのある道路空間を構築するための道路の指定制度として、ほこみち(歩行者利便増進道路)制度を創設しました。

今回開催するフォーラムは、コロナによって人と人の交流の形が変わり、道路をはじめとする公共空間の常識が変わる中、加速する世界の動き、国内各地でのほこみちを活用した新たな挑戦について、行政や民間企業等、様々な立場の実践者から先進的な取組の紹介や提案をいただきながら、今後の「公共空間の可能性」等について話し合います。

ホコミチ インスパイア フォーラム 2021 開催概要

日時：令和3年12月10日(金) 15:00～18:00 ※現地会場受付開始は14:30より

場所：竹芝ポートホール

東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー1階

定員：現地：先着150名、WEB：先着300名

※WEB参加の方にはZOOMアドレスを送ります

申込方法：ほこみち研究会ホームページ内フォーラム案内からお申し込みください。

<https://hokomichi.jp/forum/>

※締切 12月8日（水）

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001501.html

2. 地域の魅力・歴史的建造物を『Pokémon GO』で再発見！ ～国土交通省が Niantic と初コラボ!!～

国土交通省は、新たな切り口で地域固有の歴史文化の再認識や親しむ機会を提供するため、『Pokémon GO』（Niantic）と初めて連携し、新たなポケストップの設置による歴史的建造物の紹介を、神奈川県小田原市で令和3年11月15日から開始しました。

小田原市かまぼこ通り周辺地区等の歴史的建造物が『Pokémon GO』のポケストップとして登場しました。

対象のポケストップには、「建造物の説明」や「歴まちロゴマーク」が表示され、各都市の歴史まちづくりの取組や魅力を紹介するホームページ「歴まち情報サイト」へアクセスできます。

今後、全国の歴まち認定都市※へ本取組を波及させ、歴史まちづくりを盛り上げていく予定です。

※歴まち認定都市とは、地域固有の風情や情緒を維持向上するために歴史まちづくりに取り組んでいる都市であり、歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画について国の認定を受けた都市です。



歴史的建造物を紹介するポケストップ ※イメージ 「歴まちロゴマーク」ポケストップ



歴まち情報サイト

<http://www.nilim.go.jp/lab/ddg/rekimachidb/index.html>

実装開始日：令和3年11月15日（月）

紹介エリア：小田原市歴史まちづくり計画 重点区域 425ha

板橋周辺地区、南町周辺地区、かまぼこ通り周辺地区等

対象建造物：25箇所（歴まちロゴマーク表示）

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10_hh_000380.html

3. 2級水系も含めた全国 94 ダムで事前放流を実施！ ～令和3年度出水期における事前放流の実施状況～

令和3年度の出水期において、国が管理する1級水系と都道府県が管理する2級水系とを合わせて、全国の計94ダムで事前放流を実施し、台風等による出水に備えました。

- 令和元年12月に策定された「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針」に基づき、令和2年度の出水期から国が管理する1級水系（ダムのある全99水系）で事前放流の運用を開始し、令和3年度の出水期においては都道府県が管理する2級水系※でも事前放流の実施体制を整えて出水に備えました。

※ ダムのある355水系のうち、海に近い位置のダムのように事前放流の効果が見込めないダムしかない水系等を除いた321水系

- 今般、令和3年度の出水期における事前放流の実施状況をとりとめましたのでお知らせします。

事前放流の実施により、木曾川、信濃川においては、下流の流量を減らす効果があったと推定されています。（詳細は、【別紙資料】参照）

<令和3年度出水期における事前放流の実施状況(概要)>

治水等(多目的)ダム(国土交通省※)	12 ダム
治水等(多目的)ダム(水資源機構)	7 ダム
治水等(多目的)ダム(県)	29 ダム
利水ダム	46 ダム
	計 94 ダム

※内閣府沖縄総合事務局含む

【別紙資料】

- ・ 令和3年度出水期における事前放流の実施状況（総括）
- ・ 事前放流の実施状況と利水ダムによる効果（木曾川上流ダム、信濃川上流ダム）

（参考）関連資料は、下記のホームページをご覧ください。

○ 既存ダムの洪水調節機能強化に向けた検討会議

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kisondam_kouzuichousetsu/

○ 既存ダムの洪水調節機能強化に向けた基本方針

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kisondam_kouzuichousetsu/pdf/kihon_hoshin.pdf

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000167.html